

〈本体商品の取付情報〉

年式	型式	車種	最大取付数		本体の取付方法						オプション	
			トレードイン	アドオン	キットレス	取付キット使用			備考	1D		2D
						型番	主な付属品	希望小売価格(税別)		46サイズ		46サイズ
H9/8~H13/2	GF-GFEP GF-GFER GF-GF8P KD-GFFP	全車種	2D		×	KK-T39D <sup>Ⓚ</sup>		P	8,500円	注7,8	◎注6	◎注6
			2D		×	KJ-T50D <sup>Ⓛ</sup>		P注12	7,500円	注7,8,13	◎	◎
			1D		×	KK-T38D <sup>Ⓚ</sup>		P	7,500円	注9,10	◎	×
				1D	×	KK-T38D <sup>Ⓚ</sup>		P	7,500円	注9,10	◎	×
			1D		×	KJ-T10D <sup>Ⓛ</sup>		P	5,500円	注9,11	◎	×
				1D	×	KJ-T11D <sup>Ⓛ</sup>		P	3,500円	注9,11	◎	×

- (注6) 1Dサイズの上オーバーラップ機構付の商品を取付ける場合は、キットに同梱のパネル窓口の上または下がフラップ開閉時に少し当たりますので、パネル窓口を削る必要があります。
- (注7) アドオン取付けは不可で、車両側取付部(上スペースと下スペースの仕切り部分)の切取加工が必要。但し、純正2Dサイズ一体機ラジオ付車の場合には切取加工不要です。
- (注8) KK-T39D<sup>Ⓚ</sup>、KJ-T50D<sup>Ⓛ</sup>には配線コネクタ、純正ラジオ取外し専用工具が同梱されています。但し、純正2Dサイズ一体機ラジオ付車の場合には、ラジオ取外し工具(2個付属)は片側づつ使用して外します(純正ラジオの機種によっては、取外し用穴の上下の間隔が合わず使用できない場合もあります)。
- (注9) 純正2Dサイズ一体機ラジオ付車の場合にはKK-T38D<sup>Ⓚ</sup>、KJ-T10D<sup>Ⓛ</sup>、KJ-T11D<sup>Ⓛ</sup>は使用不可(取付けにはKK-T39D<sup>Ⓚ</sup>またはKJ-T50D<sup>Ⓛ</sup>を使用します)。
- (注10) KK-T38D<sup>Ⓚ</sup>には配線コネクタ、純正ラジオ取外し専用工具が同梱されています。KK-T38D<sup>Ⓚ</sup>はDサイズ1機種取付用のキットですので、1D+1Dの取付けをする場合は、KK-T39D<sup>Ⓚ</sup>を使用するか、またはKK-T38D<sup>Ⓚ</sup>を2セット使用します。
- (注11) KJ-T10D<sup>Ⓛ</sup>には配線コネクタ、純正ラジオ取外し専用工具が同梱されています。KJ-T10D<sup>Ⓛ</sup>はDサイズ1機種取付用のキットですので、1D+1Dの取付けをする場合は、KJ-T50D<sup>Ⓛ</sup>を使用するか、またはKJ-T10D<sup>Ⓛ</sup>とKJ-T11D<sup>Ⓛ</sup>を各1セット使用します。
- (注12) KJ-T50D<sup>Ⓛ</sup>には、「標準取付(通常取付)」用化粧パネルに加え、「14mm前出し取付」用化粧パネルが同梱されています。
- (注13) KJ-T50D<sup>Ⓛ</sup>は、「標準取付(通常取付)」に加え、「14mm前出し取付」にも対応したキットで、取付けるカーステレオの配線・端子等が車両側に当たる場合は、14mm前に出して、同梱の「14mm前出し取付用化粧パネル」を使用し、(パネル加工せずに)取付けることが可能です。

〔取付キットの主な付属品の記号〕

接続が可能な配線	配線コネクタが付属	電源用アンブロックが付属	取付キットに化粧パネルが付属
	トレードイン取付け専用		
3電源(ACC、常時、イルミネーション)			P
3電源+フロント・スピーカー			
3電源+フロント・スピーカー+リア・スピーカー			

接続方法は取付キット内の取付説明書に掲載。

〔別売オプション関係の記号〕 …… マツダ車

◎	取付化粧パネルが不要	D46サイズをキットレス取付けする場合に、別売の化粧パネルが不要なことを表します。D46サイズを取付キットを使用して取付ける場合に、取付キット付属以外の、別売化粧パネルが不要なことを表します。
24	マツダ車用配線キット KJ-T24P <sup>Ⓛ</sup> が使用可能	別売の専用配線キットが使用できます。24は24P車用でKJ-T24P <sup>Ⓛ</sup> (2,500円、税別)の適応車種です。
12	マツダ車用配線キット KT-12P <sup>Ⓚ</sup> が使用可能	別売の専用配線キットが使用できます。12は12P車用でKT-12P <sup>Ⓚ</sup> (2,500円、税別)の適応車種です。特に、オートアンテナ装備車の場合にはKT-12P <sup>Ⓚ</sup> を使用する場合には、オートアンテナ電源用リレーが付属されていますので大変便利です(車種によっては電源リレーを使用しないとオートアンテナが動作しません)。
	FMダイバーシティアンテナ変換コードが必要	FMダイバーシティ方式アンテナ車にトレードイン取付けをする場合で、パイオニア・FMダイバーシティ機能内蔵チューナーデッキアンプ/ハイダウエイチューナーを取付ける時には、別売のアンテナ変換コードRD-AN33(2,000円、税別)を使用します。
	車両の純正ステアリングリモコンが使用可能	別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。 (注) …純正ステアリングリモコン付車でも、グレードや仕様等により使用できない場合がありますのでご注意ください。
	汎用モニター取付金具が使用可能	汎用モニター取付キットKW-27VⅡ <sup>Ⓚ</sup> (12,000円、税別)がシート取付ボルト部に取付可能です(車種により、助手席シートが当たったり、スライドが充分できなくなる場合がありますので、注記文に注意して取付けてください。また、車種によっては、KW-27VⅡ <sup>Ⓚ</sup> 付属のロッドが使用できない場合もあります)。 (注) …KW-27VⅡ <sup>Ⓚ</sup> は、助手席エアバック装着車で、エアバックの作動に支障のある場合には、ご使用にならないでください。

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報(PDF)の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

